



情報ステーション

# しろやま



## 第31回 夏山の集い <sup>さわ</sup>爽やかな高原の風<sup>いや</sup>に癒されました!!

恒例の「夏山の集い」が、6月27日28日1泊2日の日程で実施されました。城山地区を中心に参加者を募り、女性11名、男性5名の方の申込があり、私を含む城山山岳会のメンバーと総勢20名が、長野県霧ヶ峰・美ヶ原高原で初夏の大自然を満喫してきました。前日までずっと曇りや雨のはっきりしない日が続いていましたが、当日は晴天となり、全員が期待に胸を膨らませバスに乗り込みました。



元気ハツラツ

クーラーの名前でお馴染みの霧ヶ峰は長野県のほぼ中央に位置し、標高1500m~1900m、総面積3000ヘクタールもあり、東京ドーム約641個分の広さです。大昔、楯状火山により噴火し火口から山頂部分が吹き飛ばされ、石ころの山だったそうです。長い年月を経て、降雨などの浸食が繰り返され、今のような草原に変化したと伝えられています。この山は高低差がほとんど無く、登山というよりは丘をハイキングするという感じです。最高峰の車山(1925m)には巨大な気象レーダーがあり、日夜雲の動きなど気象情報を観測しています。山頂からは、北アルプス・中央アルプス・南アルプスの白い山嶺を見ることができました。

また、夜の懇親会ではワインとジンギスカンを味わいながら、話が弾みました。2日目は、朝食前



草原のさわやかな風

に美ヶ原牧場を散歩し宿泊先のマイクロバスで王ヶ鼻周辺を、ご主人に楽しく案内していただきました。ただひとつ夕食後に星空観測できなかったことが残念でした。旅も終わりが近づくと名残惜しさが募りましたが、明日からリフレッシュした元気な気持ちになれることを実感しました。満足なガイドはできませんでしたが、たくさん笑顔の返していただき本当にありがとうございました。皆様、大変お疲れ様でした。

城山体協山岳部長 安達 高志

## 平成21年度 城山地区合同総会・顔合わせ会



大島会長あいさつ



合同総会の様子

平成21年度の城山地区合同総会が、5月16日(土)午前9時から午後4時まで、城山地区市民センターで行われました。今年度はコミュニティ協議会において、①地域内交通の早期導入実現に向けての部会の設置、②スポーツ文化活動激励金についての交付基

準策定委員会の設置、③コミュニティ協議会会則改正の検討委員会設置等が承認され、明るく住みよいまちづくりが確認されました。

総会終了後、レストラン盤石で顔合わせ会が行われ、参加者全員の皆様により「これからの城山地区発展のため頑張りましょう」との頼もしい声で、顔合わせ会が終了しました。

コミュニティ協議会事務局長 枝 俊男

## ＝ゴミのない城山を目指して＝ 不法投棄監視パトロール

城山地区を「不法投棄のできない地域」の確立を目指し、今年度1回目の不法投棄パトロールを、去る6月14日(日)、自治会・リサイクル推進員によって実施されました。地区内を8班に分かれて、それぞれの地域をパトロールにより現状を確認し、その結果報告及び意見交換を行いました。

去年よりひどくなっている、新しく捨てられた所が増えている、禁止看板の囲いに生活廃材が捨ててあった等々…。事業系ゴミより一般家庭排出ゴミが多かったようです。

市の統計資料によると、不法投棄件数は近年減少傾向にあるとのことですが、城山地区はその件数が市内で第3位と不名誉な位置付けにあります。ただ、前回のゴミの山だった場所に監視カメラ、バリケード、防犯灯の設置等対策を講じた所は、ほとんどゴミは見当たらず効果は出ているとのこと。

不法投棄を未然に防止するためには、地域住民1人1人が日常生活の中で監視の目で行動し、発見したらすぐ注意、すぐ通報等皆で徹底した行動を起こし、外部にアピールすることも大事ではないでしょうか。今回のパトロールや過去の経験を基に、それぞれの地域の特性・現状にあった長期的に有効な対策を皆で考え、地域住民が一体となり、市の指導・支援をもらいながら活動し、この城山地区がゴミのない快適な生活環境になるよう努力をしなければと実感しています。最後に、不法投棄行為者に対する罰則を厳しく科し、公表することも大事ではないでしょうか。

下飯田自治会長 磯田 勝美





消防団ポンプ操法大会が、6月6日(土)屋板運動公園で行われました。本年度は、城山分団第9部第10部が出場しました。結果は、昨年度に続いて2か部とも入賞することができました。これも、自治会をはじめたくさんの方のご協力、応援のおかげと、心より感謝申し上げます。特に本年度は、約2週間前にどちらの部とも故障者を出してしまいメンバーチェンジとなり、大変厳しい状況となりました。故障した人も、長期にわたる練習の疲れ、無理が響いたことは明らかで、とても残念な思いをさせてしまった訳ですが、とにかく2週間後には大会がせまっている、そして、メンバーを入れ替えなければならないという現実を前にして、我々の目標は、やはり、当初と同じ、勝つ、勝たせるということでした。なにしろ、まだ選手があきらめていない、本気で勝つ気になっている、そんな中団員を集めて、逆境になっても城山は強い、負けないことを見せてやろうじゃないかと、話をしました。出場する部すべての団員と、消防職員、そして我々分団幹部の気持ちがひとつになった、今までになかった一体感が生まれたような気がしました。結果、優勝することはできませんでしたが、それでも、強い城山を見ることができたのではないかと思います。

地元に住む若い方々へ…消防団に入ってみませんか、仲間との輪、絆、仕事とはまた違った付き合い、つながり、いろいろなものが、きっと、生まれることでしょう。今回書かせて頂いた操法大会以外にも、いろいろな行事があります。ひとつの目標に向かって、仲間と頑張ること、つくりあげること、きっと将来プラスになるのではないのでしょうか。

城山分団 分団長 古澤 英俊

## よみがえれ大谷 プロジェクトエコ実行委員会による活動報告



兜岩周辺

7月19日(日)、多気山参道と兜岩周辺で、よみがえれ大谷プロジェクトエコ実行委員会主催によるアジサイの下草刈りが行われ、ボランティア40人が参加しました。大谷を訪れる人たちの目を楽しませようと始まったこの事業。アジサイの植栽や下草刈りを通して、多気山参道をアジサイの花に彩られた道に、また、大谷の奇岩群の美しい姿をさらに際立たせようとするものです。当日は、湿気と暑さの中、全員汗びっしょりになりながらでしたが、観光客の喜ぶ顔を思い浮かべながら作業に励んでいました。プロジェクトエコ実行委員会



多気山

## 明保小学校地域協議会主催 あじさい剪定

7月21日(火) 40名参加

明保小自慢のあじさいのフラワーロード。今年は初めて地域のボランティアの方々が多数剪定作業にご協力くださいました。来年6月の開花が今から楽しみです。

皆さんも一度見に来てください。



# このままでいいの？ みんなの足



## 「地域内交通に関する実態調査」の結果報告

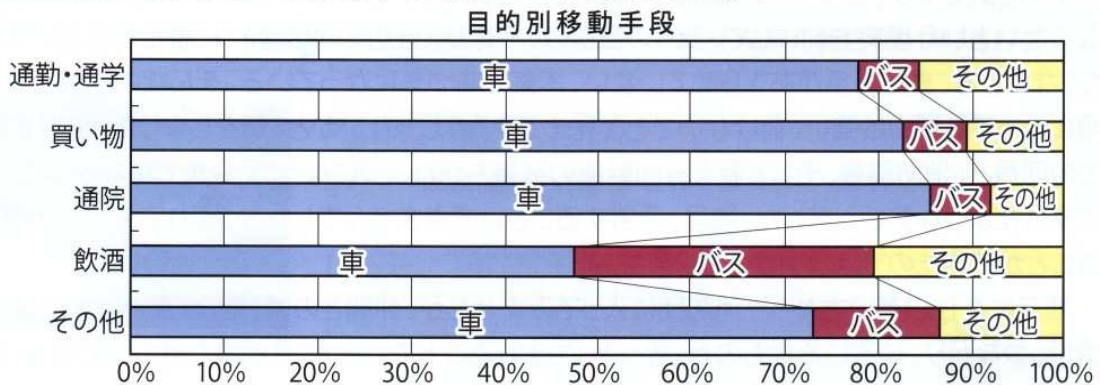
昨年10月に城山地区において実施された「地域内交通に関する調査」の集計がまとまりました。現在、コミュニティ協議会内において部会を設置し、勉強会を開催しているところです。今後、対象地域に「第2回住民アンケート」を実施していく予定です。

回答世帯数	2,933世帯
(送付世帯)	4,323世帯
回収率	67.8%
男性	4,018人
女性	4,342人



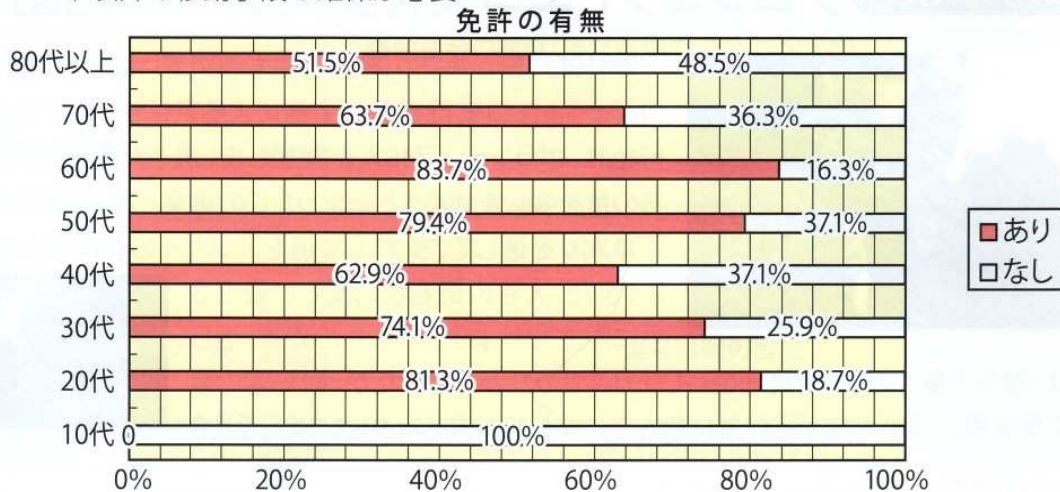
## ほとんどが自家用車利用 ー現在の交通手段ー

・飲酒の機会以外は自家用車を利用している場合が多い。



## 70代以上は免許所有者少なく ー自動車運転免許保有の有無ー

・70歳以上で36.3%、80代以上になると約半数の48.5%が免許を所有していないため、車以外の移動手段の確保が必要



## バスの運行本数と時間に不満 ー公共交通に対する満足度ー

### 路線バスについての意見



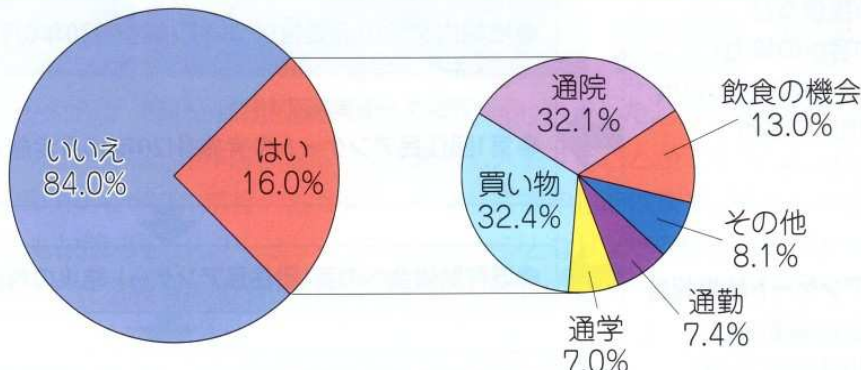
・路線バスルートについては、満足の割合が多い。  
・運行本数や時間については、不満の割合が多い。

## 1/6が移動に困っている

### 現在移動手段に困っているかについて

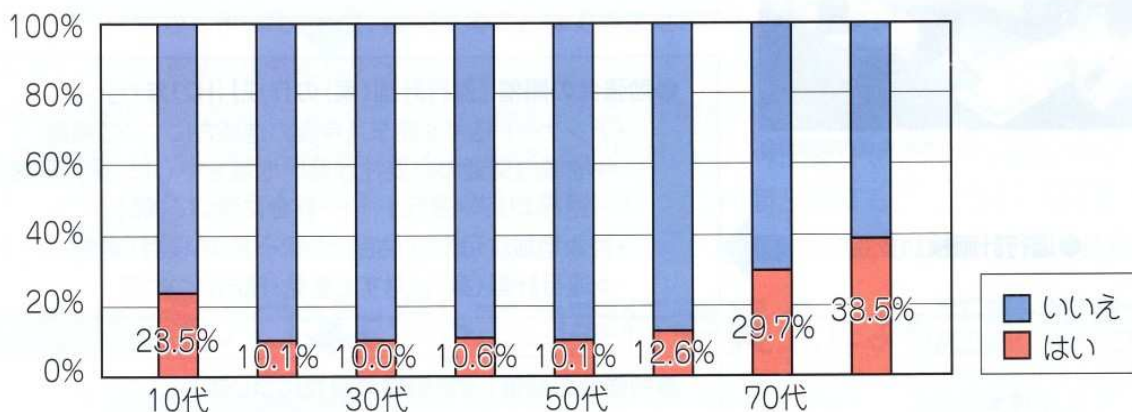
- ・困っている人は城山地区全体の16% (1,332人) いる。
- ・買い物と通院時に移動に困っている割合が多い。

#### 移動手段に困る際の内訳



## 免許のない人が移動に困っている

免許を所有していない10代及び70歳以上の高齢者が、現在移動手段に困っている。

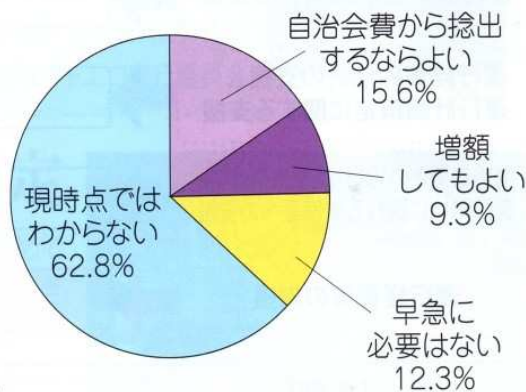
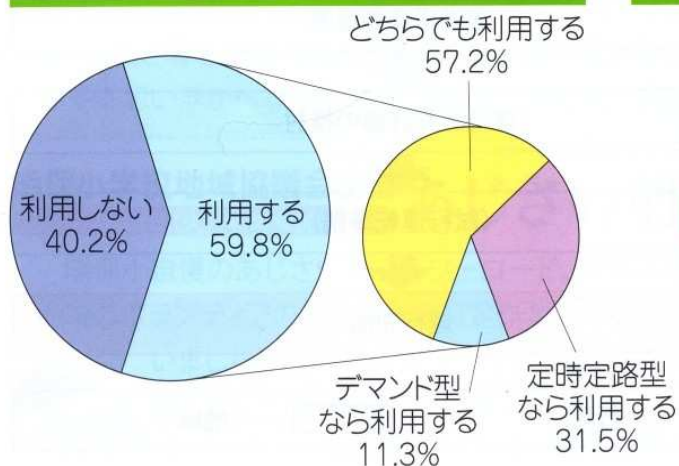


## 6割が地域内交通を利用したい 「アンケート結果を見てから」が最多

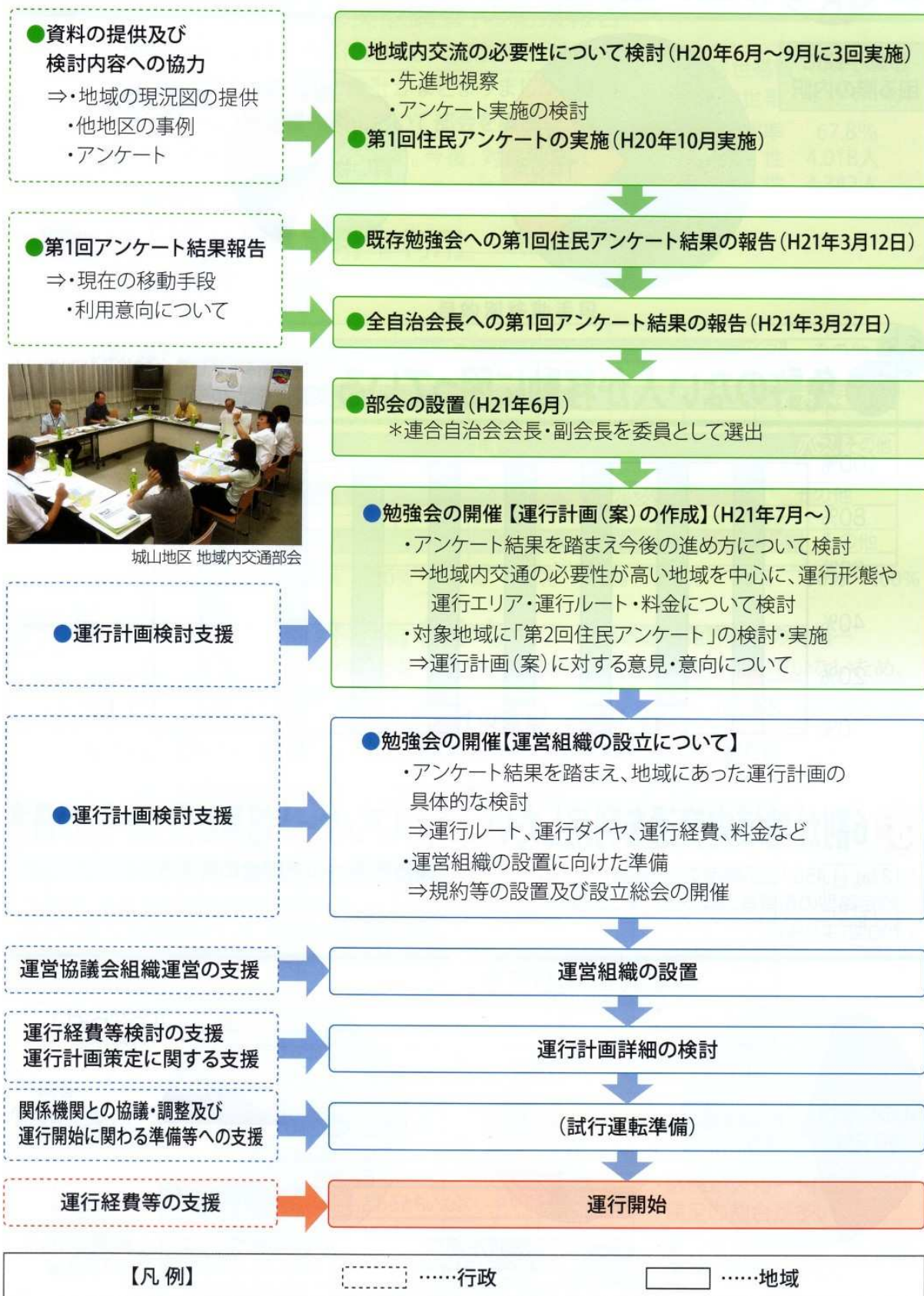
- ・59.8%、(1,430人) が利用すると回答している。
- ・定時定路型の希望者のほうがデマンド型(予約型)より多い。

### 運行経費への支援金の考え方

- ・アンケートの結果を見てから判断する割合が多い。
- ・自治会費からの負担については24.9%が同意している。



## 城山地区における地域内交通の運行までの流れ



城山地区 地域内交通部会

## 田野町自治会の介護予防教室

田野町自治会では、平成21年度から田野町公民館において介護予防教室を開催する計画を立て、城山地区包括支援センターの支援を受けて準備を進めてきました。その第1回教室が平成21年4月3日(金)に開催され、27名の参加がありました。当日は、全員で健康体操を行った後、「老化について」の説明があり、和気あいあいの雰囲気の中で、第1回教室を終了しました。今後は、毎月1回程度教室が開催される予定となっています。



## 城山地区の 美味を訪ねて



ほどよい甘さとトマトの絶妙な味わいが口の中に広がり、なんとも云えない幸福感に満たされてしまう「トマトゼリー」を始めとして、「ゆずゼリー」・「梅ゼリー」・「豆腐」・「味噌」・「ラスク」など、地産地消・安全安心をモットーに地元のお母さん方が手作りするこれらの美味を求めて、城山地区農産加工所を訪ねました。

加工所では今年度、うつのみやアグリネットワーク・アグリビジネス創出促進事業で、「こめっ粉ロールケーキ」が採択されるなど、順調な成果を上げていますと伺いました。当日は8名の皆さんが担当ごとに製品を作り、撮影のため出来立てを並べていただきました。写真だけでは美味しさをお届けできませんが、是非一度ご賞味ください。なお、製品の一部は近隣の学校にも納められ好評を得ているとのことです。

広報部 笹原 定一

これらの品は、農産加工所で販売しています。

田野町659-2 TEL/FAX 652-6878 販売時間 9:00~16:00 定休日 日曜・祝日・第2土

# 天狗の投げ石について

石あかり隊としろやま案内人がドッキングした新しい試みが計画されています。それは平和観音参道で石あかり展と観光物件とを交互に案内しようということです。

さて、大谷石に関する話です。この参道のスタート地点にある「天狗の投げ石」は本当に戸室山の天狗の投げたものなのでしょうか。この際、少しまじめに考えてみましょう。もともとは地形図でこの辺りの海拔は150mとあります。天狗の投げ石まで50mとして海拔は約200mになります。地球の出来立てのころ火山の噴火がおちつくころには、最初は大洪水がたびたび発生しました。古大谷川が日光から鹿沼に向かって暴れていました。洪水のたびに柔らかい土砂を削っては流し150から500m級の硬い山々—丘陵—を残しては、東へ東へと流路を移して五行川から鬼怒川の方へ移動していったのです。

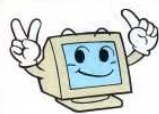
段丘が川の流れてできます。一番大きな仕事は、①大谷石を露出させたこと。②宇都宮旧市街地の乗っかっている宇都宮段丘を形成したことでしょう。古大谷川の流れたあとに赤川や姿川・釜川・田川が残りました。

多氣山の頂上は標高377mです。麓の国道293号周辺が170mですから、比高は200mあります。研究によりますと、この古大谷川が暴れた時代に流れの関係で全く削られなかったあとを10数カ所線で結ぶと300mの高さで土砂や古い地層が残っていて大昔の土地の形がある程度推測できるとのことです。天狗の投げ石の上にも土砂が100m堆積していたことになります。この洪水がなければ、大谷石の存在も分からなかったし、天狗の投げ石も誕生しなかったわけです。大谷石の露出は、その後の大谷の人々の生活に大きく影響することになりました。

※写真は落下防止工事前の「天狗の投げ石」文も・永森庄二（文化財解説・観光ガイド）



## 城山地区ホームページが楽しい!



「情報ステーションしろやま」の創刊号(1号)から最新号までを収録しております。是非ご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www2.ucatv.ne.jp/~shiro333/>



「情報ステーションしろやま」の企画編集員・通信員を募集しています

城山地区コミュニティ協議会が発行している当紙「情報ステーションしろやま」の編集作業や記事の取材などをしていただけるスタッフを募集しています。年齢・経験等は不問です。是非、ご連絡ください。

問い合わせ先:城山地区市民センター内  
「情報ステーション しろやま」担当まで

## 編集後記

先日テレビで、東京の大型団地にあるスーパーが撤去したため、交通手段を持たないお年寄りの買い物ができなくなり、毎日缶詰で食事をしている光景が放映されました。

城山地区でも地域内交通の計画を推進していますが、あらためてその重要性を認識させられた次第です。世の中には、効率性、採算性だけではいかな問題があるのではないのでしょうか。 広報部一同

## 城山地区の人口(平成21年7月末日現在)

- 総世帯数 9,008世帯 ●総人口 23,281人
- 男: 11,511人 女: 11,770人

編集・発行

城山地区コミュニティ協議会

〒321-0345 宇都宮市大谷町1059番地5  
宇都宮市城山地区市民センター内  
TEL 028-652-4794 FAX 028-652-5570

